

2 社会教育の充実

1 学習活動の充実

〈目標〉

多様化・高度化する学習ニーズに応えるため、あらゆる年齢層に応じた様々な学習機会を提供する。また、社会教育関係団体等の自主的な活動を支援するとともに指導者を育成する。

〈取り組みの方向〉

社会教育関係団体等の自主的な活動の支援、指導体制のさらなる充実、関係機関や団体との連携・ネットワーク化を進め、少子高齢化等に対応した学習機会を提供する。

〈平成22年度の主な取り組み〉

(1)自主的活動の促進

- ・社会教育関係団体や市民グループが行う自主的な活動などを支援する。

(2)指導体制の充実

- ・社会教育主事講習や社会教育関係研修会等に積極的に参加し、指導体制の充実を図る。
- ・各種指導者養成講座等を実施し、社会教育活動における指導者としてまちのせんせい⁽¹⁵⁾や、スポーツインストラクターなどを養成する。

(3)関係機関・団体との連携

- ・社会教育関係団体や地域住民と連携し、市民と協働して子どもの安全確保や青少年健全育成、学習活動等を推進する。

(4)学習機会の充実

- ・多様化する市民の学習ニーズに応えるため、幼児から高齢者まで、あらゆる年齢層を対象とした各種学級や講座を開催する。

〈平成 22 年度の取組実績〉

(1) 自主的活動の促進

社会教育関係団体や市民グループが実行委員会を組織して開催する「市民文化祭」「公民館まつり」等、日頃の活動成果や交流の場を提供することにより、市民の自主的な活動を支援した。

【イベント参加状況】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
市民文化祭	11,826 人	10,197 人	10,147 人
公民館まつり	7,322 人	8,676 人	8,584 人
フェットエスポアール (エスポアールまつり)	8,843 人	新型コロナウイルスにより中止	9,883 人
元気夢まつり	33,500 人	新型コロナウイルスにより中止	26,935 人

(2) 指導体制の充実

- ①市民の社会教育活動を支援するため、社会教育部内の職員が社会教育主事講習の受講や各種研修会への参加、社会教育関係団体等の指導者を対象とした指導者研修会・研究大会等へ参加するなど、指導者の育成・資質向上を図った。
- ②子ども会指導者セミナーやまちのせんせい養成講習会の実施により、地域における子ども会活動の活性化やまちのせんせいバンクを設置し、生涯学習に対する市民の多様化・高度化する市民の学習ニーズに応えるよう指導者の育成・資質向上を図った。
- ③スポーツインストラクター養成講習会、スポーツ振興連盟種目別講習会の実施により、スポーツリーダーズバンクの充実や各種専門スポーツ種目の指導者の育成・資質向上を図った。

【指導者養成講習会等参加状況】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
子ども会指導者セミナー	315 人	364 人	313 人
スポーツインストラクター養成講習会	42 人 (うち認定 22 人)	51 人 (うち認定 33 人)	40 人 (うち認定 27 人)
スポーツ振興連盟種目別講習会	1,319 人	1,172 人	1,525 人

【まちのせんせいバンク登録・派遣状況】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
バンク延べ登録者	—	64 人	33 人
派遣依頼件数 (派遣人数)	—	30 件 (31 人)	73 件 (69 人)

(3)関係機関・団体との連携

成人教育推進のため、幅広い視野と豊かな感性を培うことを目的に、成人教育講座を市立校園PTA協議会及び6コミュニティセンターと協働して開催した。

また、青少年指導員会との連携事業として中学生の主張や青少年育成促進事業を、子ども会育成連絡協議会や婦人会協議会と連携して青少年健全育成事業を実施した。

子どもの安全に関して、子どもを守る市民集会の開催や地域における見守り活動を社会教育関係団体や関係機関等と連携して実施した。

【成人教育講座開催状況】

(平成 22 年度参加者数 819 人)

テーマ	開催場所	参加者数
食と健康そしていきがづくり	東コミセン	50 人
エコファッションショー	西南コミセン	117 人
大人も楽しめる折紙教室	西コミセン	43 人
共育 ～共に育つということ～	中央公民館	110 人
アコーディオンコンサート	中央公民館	234 人
元気で暮らせる食生活	西北コミセン	38 人
子どもとのかかわりで大切なこと	中央公民館	129 人
骨粗しょう症とその予防	東北コミセン	56 人
笑って健康！	南コミセン	42 人

(4)学習機会の充実

社会教育施設では、多様化・高度化する市民の学習ニーズの把握に努め、社会の変化や今日的な課題を考慮した、あらゆる年齢層の市民が参加できる講座・教室や行事を実施した。

【社会教育施設の利用者数（中央図書館は利用カード登録者数）】

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
中央公民館	176,735 人	171,986 人	205,620 人
エスポアール	161,044 人	163,267 人	202,519 人
教育センター	37,928 人	62,449 人	67,958 人
中央図書館	89,287 人	94,278 人	99,713 人

〈点検・評価〉

(1)自主的活動の促進

- ・日頃の活動成果や交流の場を提供し、市民の自主的な活動の促進を図ることができた。

(2)指導体制の充実

- ・社会教育主事講習の受講など、指導者の育成・資質向上を図り、市民の社会教育活動を支援することができた。
- ・まちのせんせい養成講習会を実施し、97人のまちのせんせいがバンク登録するとともにその活用として、市民サークル、自治会や放課後子ども教室などに派遣することにより、市民の生涯学習活動の支援を図ることができた。
- ・スポーツインストラクター養成講習会では、受講者のうち約70%が全課程を修了し、また、種目別講習会では対前年度比30%の増員となるなど、スポーツ指導者の育成と資質の向上を図ることができた。

(3)関係機関・団体との連携

- ・成人教育講座を開催し、市民に学習の機会の提供を図ることができた。
- ・中学生の主張・青少年育成促進事業を実施することにより、青少年健全育成が図られ、子どもを守る市民集会や地域における子どもの安全見守り活動を実施することにより、啓発活動の促進と安全確保を図ることができた。

(4)学習機会の充実

- ・社会教育関連施設ではますます多様化・高度化する市民の学習ニーズに応えるため、あらゆる年齢層を対象とした学習機会の提供により充実を図ることができた。

2 公民館の充実

〈目標〉

あらゆる年齢層を対象に、各種講座や教室を開設するとともに、人と人とのつながりや地域を活性化するための拠点としての機能を高める。

〈取り組みの方向〉

市民ニーズを的確に把握しながら、あらゆる年齢層の市民の学習や交流の拠点として、効果的・効率的な施設の管理運営を行う。

〈平成 22 年度の主な取り組み〉

(1) 中央公民館の充実

- ・中央公民館施設の改善により、より安心・安全な施設として市民の利用に供する。
- ・新規事業の実施や集客促進活動により、施設の活性化を図るとともに、中央公民館の充実に向け、市民ニーズの把握に努める。

(2) 中央公民館の効果的・効率的な管理運営

- ・指定管理者制度⁽¹⁶⁾導入による民間活力の活用によって、中央公民館のより効果的・効率的な管理運営を行う。

〈平成 22 年度の取組実績〉

(1) 中央公民館の充実

- ①中央公民館施設の点検・整備に努め、講堂舞台吊物を修繕するなど設備を整備した。
- ②青少年への取り組みとして高等学校の協力を得て行った K-O-N High School Live⁽¹⁷⁾等の新規事業を実施するとともに、地域情報誌等を活用するなど、積極的な集客促進活動を行った。
また、利用者アンケートを実施し、市民ニーズの把握に努めた。

【中央公民館の利用状況】

区 分 \ 年 度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
公民館まつり	7,322 人	8,676 人	8,584 人
市民大学	1,835 人	2,036 人	1,867 人
ハンダ講座	3,631 人	3,384 人	3,606 人
ファミリー映画会	965 人	415 人	1,126 人
その他主催講座・教室等	4,624 人	5,478 人	6,589 人
展示会	1,348 人	753 人	445 人
貸し館等	157,010 人	151,244 人	183,403 人
合 計	176,735 人	171,986 人	205,620 人

(2) 中央公民館の効果的・効率的な管理運営

市民サービスの向上を図るため、平成 22 年 4 月 1 日から指定管理者制度を導入し、効果的・効率的な管理運営を行った。

また、継続事業の充実を図るとともに、新規事業を実施し、積極的な集客促進活動を行った。

〈点検・評価〉

(1) 中央公民館の充実

- ・設備の修繕を実施し、より安心・安全な施設として市民の利用に供することができた。
- ・市民の自主的活動の支援や学習機会の提供に努めるとともに、各種事業の充実を図ることができた。
- ・施設利用者アンケートを実施し、95.7%の利用者から満足であるとの結果が得られるなど、市民ニーズを把握することができた。

(2) 中央公民館の効果的・効率的な管理運営

- ・平成 22 年 4 月 1 日から指定管理者制度を導入し、民間のノウハウを生かした継続事業の充実やあらゆる世代を対象とした新規事業の実施、積極的な集客促進活動を行ったことにより、利用者数が増加した。

3 図書館の充実

〈目標〉

市民の生涯学習の拠点、情報入手の場として、図書館資料・情報の収集、保存、提供を行うとともに、すべての人が快適に利用できるよう読書環境を整備する。

〈取り組みの方向〉

市民の読書ニーズに応え、常に新鮮で豊富な資料や情報を迅速に提供するなどサービスの一層の向上と図書館業務の効率化を進める。

〈平成 22 年度の主な取り組み〉

(1) 図書館機能の充実

- ・多様化する市民の資料ニーズに応えるため図書館資料・情報の収集、保存機能の充実を図る。
- ・地域の情報発信の拠点としての機能を高めるため、ICT ネットワーク促進事業を推進する。図書館電算システムの更新（平成 23 年 3 月）を行う。
- ・図書館業務の効率化を図るため、中央図書館、東図書館の業務の一部を引き続き委託する。
- ・障がい者、高齢者へのサービスや、外国人などへの多文化サービスを積極的に提供する。
- ・読書の普及を図るため、児童向けの催しや児童文学に関する講座・講演会を開催する。
- ・成人を対象とした講演会及びコンサートを開催する。
- ・利用者の拡大を図るため、国民読書年及び図書館 40 周年記念行事を開催する。

(2) 子どもの読書活動の推進

- ・『子ども読書活動推進計画』に基づき、保育所・幼稚園・小中学校や地域・ボランティア等と連携し、子どもの読書環境の整備を推進する。

- ・子どもの読書環境を充実させるため、子どもの読書活動推進に長年取り組んできた市民団体に委託し、東図書館子ども図書室を運営する。

(3)関係機関・団体との連携

- ・北河内6市や大阪市等とも相互貸借を推進し、図書館資料の効率的な運用を図る。

〈平成22年度の取組実績〉

(1)図書館機能の充実

①資料（本等）の収集

【蔵書冊数】

	蔵書累計	受 入 数		
		購入数	寄贈数	合 計
平成20年度	413,968 冊	32,313 冊	1,926 冊	34,239 冊
平成21年度	429,036 冊	28,653 冊	984 冊	29,637 冊
平成22年度	449,609 冊	29,765 冊	995 冊	30,760 冊

※点字図書・AVを含む

【貸出冊数】

	中央図書館	東図書館	分 室	移動図書館	総 計
平成20年度	738,910 冊	221,963 冊	143,989 冊	28,099 冊	1,132,961 冊
平成21年度	737,947 冊	265,331 冊	144,814 冊	24,997 冊	1,173,089 冊
平成22年度	700,978 冊	289,005 冊	145,317 冊	21,832 冊	1,157,132 冊

※貸出冊数について、中央図書館・移動図書館は微減、東図書館・4分室は微増

※分室は西北・南・東北・西南の合計冊数

また、市史編纂事業中に収集した各種史料の整理作業、史料データベース構築作業を委託実施した。

②図書館利用の促進

社会や生活に関する課題・トレンドを分析し、ビジネス支援コーナーやブックフェアで関係資料を紹介し、利用を促進した。

(ア) ビジネス支援コーナー資料数：899 冊（就職支援・起業支援など）

(イ) ブックフェア：年間 93 回実施

一般向け	中央 28 回	東 5 回
子ども向け	中央 54 回	東 6 回

③利用者の利便性の向上

(ア) インターネットでの予約サービスの状況

平成 21 年度	予約受付数 167,687 冊うちネット予約 45,869 冊(約 27%)
平成 22 年度	予約受付数 174,455 冊うちネット予約 49,471 冊(約 28%)

(イ) ICT ネットワーク事業では、館内に市民閲覧用パソコン（インターネット接続）設置、ホームページからの予約受付、予約可能な館内蔵書検索機（OPAC）の設置等を行っている。

(ウ) 市内 4 駅前に 24 時間返却できる返却ポストを設置し、利便性の向上を図った。

(エ) 図書館電算システム及び機器を更新した。

【予約受付冊数】

	中央図書館	東図書館	分 室	移動図書館	総 計
平成 20 年度	80,555 冊	45,641 冊	31,090 冊	837 冊	158,123 冊
平成 21 年度	84,760 冊	49,455 冊	31,946 冊	1,526 冊	167,687 冊
平成 22 年度	88,034 冊	50,133 冊	34,062 冊	2,226 冊	174,455 冊

※分室は西北・南・東北・西南の合計冊数

【市内4駅前返却ポスト利用状況】

	寝屋川市駅	香里園駅	萱島駅	東寝屋川駅	合計
平成20年度	59,520冊	39,400冊	20,600冊	16,360冊	135,880冊
平成21年度	63,720冊	42,320冊	20,000冊	17,960冊	144,000冊
平成22年度	63,320冊	44,600冊	20,400冊	18,840冊	147,160冊

④図書館業務の効率化

東図書館は、引き続き窓口業務をNPO法人「図書館活用をすすめる会」に、子ども図書室運営業務をNPO法人「子どもと本をつなぐ会—おおきくなあれ—」に業務委託を行った。

⑤視覚障がい者等へのサービス

- (ア) 視覚障がい者を主な対象とした点字・録音図書の作成・貸出を進めた。視覚障がい者向け録音図書作成は、市民団体により順次デジタル化を進めており、完成作品の増加と使用方法の普及に伴ってテープ図書からデジタル図書⁽¹⁸⁾へ利用がシフトしている。
- (イ) 図書館へ来ることが困難な方へのサービスとしては、老人ホームへ移動図書館車（おきがる号）を定期派遣した。
- (ウ) 在住外国人向け資料として韓国・朝鮮語、中国語、英語の原書を提供した。

【点字・録音図書貸出数】

	点字図書		テープ図書		デジタル図書	
	タイトル	巻数	タイトル	巻数	タイトル	巻数
平成20年度	15	20	359	2,608	46	46
平成21年度	14	33	348	2,483	157	157
平成22年度	12	30	359	2,428	202	202

⑥各種講座・講演会等及び国民読書年及び図書館 40 周年記念行事の開催

【講座・講演会等参加者数】

- ・としょかんまつり (2,250 人)
- ・絵本タイム (192 回 3,098 人)
- ・おはなしの入門講座 (5 回 127 人)
- ・子どもの本の入門講座 (2 回 79 人)
- ・読み聞かせ講座 (3 回 34 人) ほか

計：延べ 291 回実施 参加者数 7,107 人

【国民読書年及び図書館 40 周年記念行事参加者数】

- ・記念講演会 坂東眞理子 (310 人)
- ・ピアノハートフルコンサート 樋上真央 (430 人)
- ・キッズコンサート 桜井じゅん他 (260 人)
- ・図書館寄席 桂文華 (255 人)
- ・親子でワークショップ「ちりめんモンスター」(53 人)
- ・児童文学講演会 高田桂子 (32 人) ほか

計：16 回実施 参加者数 1,772 人

(2)子どもの読書活動の推進

「寝屋川市子ども読書活動推進計画」(平成 18 年 3 月策定)に基づいて、子どもの読書環境を一層整備するため、保育所・幼稚園・学校等への団体貸出用図書を購入し、団体貸出に取り組んだ。

【団体貸出の貸出冊数】

	貸出冊数	学校園所	家庭文庫 の団体数	地域文庫 の団体数	その他 の団体数
平成 20 年度	45,103 冊	47 団体	2 団体	6 団体	53 団体
平成 21 年度	48,573 冊	53 団体	1 団体	7 団体	55 団体
平成 22 年度	52,225 冊	55 団体	1 団体	7 団体	65 団体

※その他の団体とは、留守家庭児童会や読書関係の市民団体で学校園は含まない。

【学校園・保育所団体登録数】

	中学校	小学校	幼稚園・保育所
平成 20 年度	6 校	21 校	20 園所
平成 21 年度	6 校	22 校	25 園所
平成 22 年度	6 校	22 校	27 園所

【子ども読書活動推進事業】

事業名	開催回数	参加者数
子ども読書活動推進啓発講座	12 回	延べ 470 人
みんなで話そう えほんとかどもとおとな	12 回	56 人
絵本で子育てにこにこ赤ちゃん	12 回	104 人
保育所でのブックスタート	12 回	698 人
絵本を贈ろう事業（1歳6ヶ月児）		1,837 人

(4)関係機関・団体との連携

図書館間の相互貸借とともに利便性の向上を図るために、北河内6市や大阪市等と連携して図書館の広域利用制度を進めた。

【平成 22 年度広域利用貸出延べ人数及び貸出冊数】

	市 民		他 市 の 人	
	他市の図書館 を利用した人数	他市の図書館 から借りた冊数	本市の図書館 を利用した人数	本市の図書館 から借りた冊数
守口市	1,432 人	2,792 冊	1,070 人	5,299 冊
枚方市	7,084 人	33,172 冊	1,409 人	8,850 冊
大東市	1,191 人	2,873 冊	123 人	881 冊
門真市	1,805 人	7,054 冊	763 人	6,024 冊
四條畷市	2,276 人	10,705 冊	433 人	3,741 冊
交野市	93 人	302 冊	701 人	5,109 冊
その他	—	—	7 人	15 冊

平成 20 年度	12,078 人	48,758 冊	4,573 人	30,685 冊
平成 21 年度	14,040 人	57,971 冊	4,398 人	30,582 冊
平成 22 年度	13,881 人	56,898 冊	4,506 人	29,919 冊

〈点検・評価〉

(1) **図書館の充実**

・図書館の蔵書冊数については、計画的に増加しているが、貸出冊数については前年度比約 1 % 減少した。各館貸出の増減要因については、今後の施策に活かすべく分析していく必要がある。

(中央図書館 5 % 減少、移動図書館 13 % 減少、東図書館 9 % 増加)

- ・インターネット予約の促進により予約受付冊数が前年度比 4 % 増え、サービスの向上につながった。
- ・来館が困難な高齢者へのサービスとして老人ホームへの移動図書館車の派遣、市内 4 駅前の返却用ブックポストの設置等、利便性の向上を図った。
- ・視覚障がい者向け録音図書の作成は、市民団体によって行われているが、テープ図書から順次デジタイズ図書の作成に切り替え、利便性と保存性の向上を図ることができた。
- ・図書館で実施した各種講座・講演会・イベント・コンサート等の合計参加者数は 8,879 人で、これにより新たな図書館利用者の拡大を図った。

(2) **子どもの読書活動の推進**

・子ども読書活動推進事業で実施した事業へは、1,328 人（48 回）の参加者があり、また市内保育所・幼稚園・小中学校等へ働きかけた結果、団体貸出が前年度比 8 %（3,652 冊）増加する等、市民協働で取り組んでいる子ども読書活動推進事業は着実に成果を上げたが、中学校の団体登録数が伸びておらず、団体利用促進の手立てが課題となっている。

(3) **関係機関・団体との連携**

・北河内 6 市や大阪市等との図書館で進めている広域利用制度により図書館の利便性が向上し、各市の利用者に定着している。